

新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

2020年6月26日
株式会社デジタルエッグ

社員への感染防止対策

- 毎日検温を実施。
37.5°C以上の発熱や、風邪の症状がある場合は入社せず経過を上長に報告する。
 - 「マスク着用」、「手洗い」、「消毒」の徹底。
 - 技術部は作業のないものは自宅待機、営業部・管理部は交代でテレワークを行い、出勤率を50%以下にする。
 - 時差出退勤を奨励し、混雑時の通勤を減らすとともに、オフィス内の同時滞在人数を減らすことにより感染リスクを下げる。
 - 営業フロア受付に透明パーテーションを設置。
 - 執務スペース各デスク間に透明ビニールを設置。
 - 執務スペースの常時換気を行う。
- 会議／会合／宴席／出張
- ① 会議は11時以降に設定し10名以内で行う（リモート会議を推奨）。
 - ② 多人数の会合（セミナー・イベントなど）の参加はプライベートを含め禁止。
 - ③ お客様との夜の会食は原則禁止。お客様から宴席の招待を受けた場合は役員の判断とする。
 - ④ 国内外への出張は禁止。

お客様への感染防止対策

パブリックスペース

- 「拭き上げ除菌」を1日2回実施。
- ラウンジで提供していた菓子類は撤去。
- 各階の冷蔵庫を使用する際は、必ずスタジオ名を記入し、個別に袋に入れて収納する。
- 喫煙スペースは、利用停止。
- エレベーター内に私語を慎んでいただく旨のお願いを掲示。
- 消毒液を1F エントランス及び各階に設置。
- 会議室に消毒液を用意し、使用前・使用後に除菌していただく。

- トイレのハンドドライヤーは使用禁止。
- 便器の蓋は使用后、閉じてから流していただく旨のお願いを掲示。

スタジオ内

- 入室するお客様には、入室者の履歴把握のため「入室名簿」への記入をお願いする。
- 作業の開始前及び作業後は、必ず「拭き上げ除菌」を行う。
 - ※ペン、タブレット、キーボード、モニター、テーブル、電話、ドアノブなど。
- 作業時は、スタッフの手袋着用を推奨。

■密閉対策

- ①窓のあるスタジオは、窓を開け換気をする。
- ②窓の無いスタジオは1時間に1~2度ドアを開け、5分程度換気をする。
 - ※全スタジオにサーキュレーターを設置。
 - ※当ビルは全ての場所において機械換気をしているため、ビル内に空気は滞留しない。
- ③オゾン発生器導入を検討中。

■密集対策

- ①リモート試写を推奨。
 - 弊社独自の CreatorVision を使ったオンライン・プレビューサービス（略称オンプレ）を初め Teams、ZOOM、webex（CISCO）などお客様のご要望に応じて各種 Web 会議システムに対応可能。
 - オフライン～グレーディング～本編集～MA まで全ての工程で実施可能。
- ②スタジオ内の人数は、窓の有無にかかわらず、スタッフを含め最大 5 名を目安に人数制限を設ける。
- ③5 人を超える場合は、スタジオと会議室に分かれて試写を行う。
 - ※全フロアの会議室にて編集室の映像が視聴可能。

■密接対策

- ①ソーシャルディスタンスを保つ。
- ②エディターと Dir など十分な距離が取れない場合は、可動式透明パーテーション及びフェイスシールドを使用。
- ③可能な限り「同時逐次指示」から「事前一括指示」へお願いし、試写時はその確認のみとすることにより接触時間を最小限にする。